

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成26年5月1日(木)~16日(金)

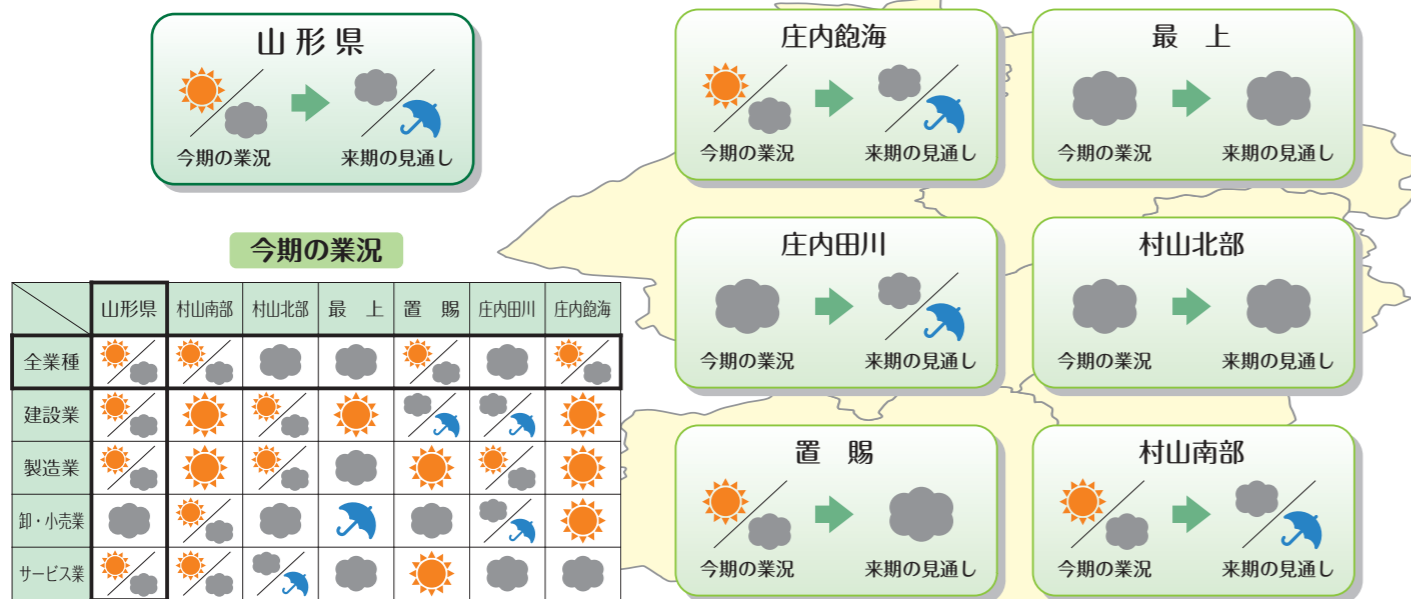
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形726社、秋田652社
有効回答数 山形461社、秋田468社
回答率 山形63.5%、秋田71.8%

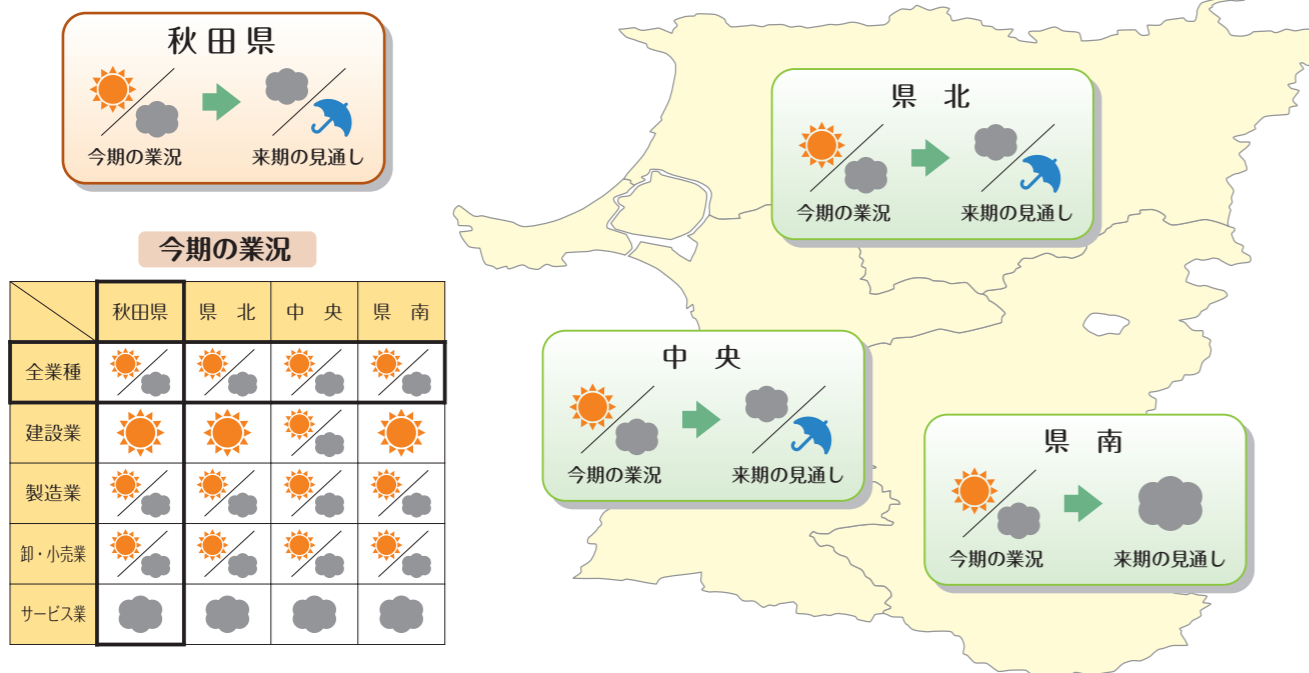
特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI \geq 30	30>DI \geq 10	10>DI \geq 10	10>DI \geq 30	30>DI

景気の天気図

第39回「山形県内企業の景気動向調査」



第12回「秋田県内企業の景気動向調査」

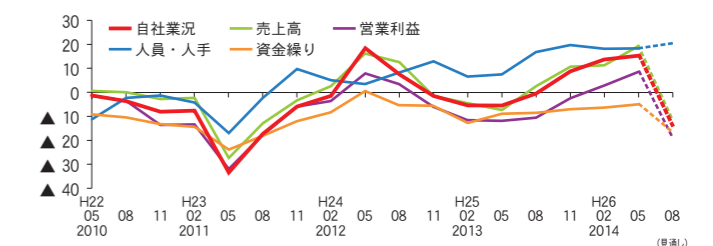


▶ 自社業況の動向

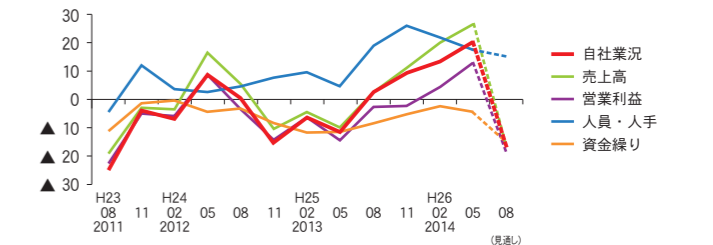
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみると、16.3(前回調査比3.0ポイント上昇)と改善し、プラス幅を拡大した。しかしながら、前期と比べた「自社の業況DI値(前期比)」は7.6(前回調査比2.3ポイント下落)と2期連続で悪化している。先行き見通しは、▲13.7(今回調査比30.0ポイント下落)と大幅に悪化し、再びマイナスに転じる見込み。

秋田県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみると、20.1(前回調査比6.9ポイント上昇)と4期連続の改善となった。しかしながら、前期と比較した「自社の業況DI値(前期比)」は4.7(前回調査比3.7ポイント下落)と2期連続で悪化している。先行き見通しは▲16.5(今回調査比36.6ポイント下落)と大幅に悪化し、再びマイナスに転じる見込み。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

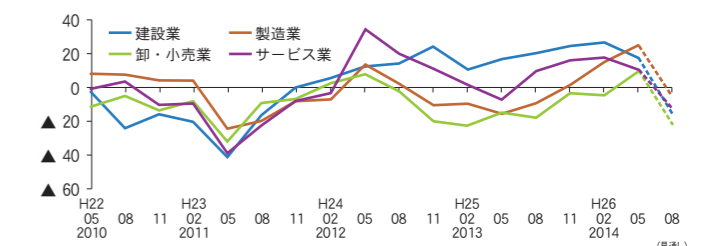


▶ 業種別の動向

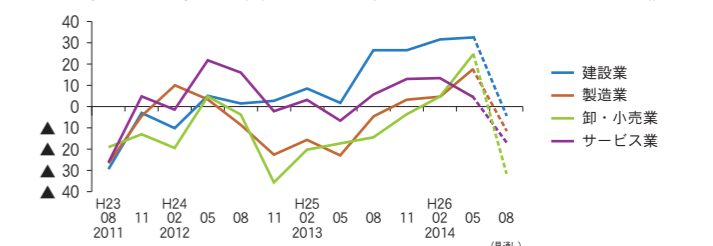
山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業、サービス業が悪化しているものの、製造業ではDI値のプラス幅を拡大し、卸・小売業ではプラスに転じた。先行き見通しは、すべての業種で大幅に悪化の見込みとなり、消費税増税を契機とした景気の冷え込みや、原材料費・電気料金などの経費増加を懸念している状況がうかがえる。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、サービス業で悪化したものの、建設業は高水準のプラスで推移し、製造業、卸・小売業で大幅に改善した。先行き見通しは、すべての業種において大幅な悪化が見込まれており、消費税増税の影響等に伴う景気の下振れ懸念が色濃くみられ、全業種でDI値がマイナスに転じる見込み。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

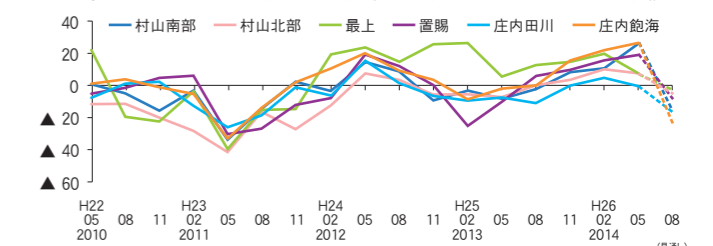


▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部、置賜、庄内飽海で回復し、DI値のプラス幅を拡大した。一方で、村山北部、最上、庄内田川で悪化した。先行き見通しは、すべての地域で悪化の見込みとなり、中でも村山南部と庄内飽海の悪化幅が大きく見込まれている。また、庄内田川以外の5地域でDI値がマイナスに転じる見込み。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県北、県南がともに2期連続の改善となり、中央も2期ぶりの改善となるなど、総じて回復基調での推移となった。先行き見通しは、すべての地域で大幅に悪化してDI値がマイナスに転じる見込みとなっている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

